

大分県防犯設備士協会の活動



大分県防犯設備士協会 会長 片山 勇

1.協会の発足

大分県防犯設備士協会は、大分県警察本部のご協力により平成15年7月に設立いたしました。当協会が発足した背景は、平成15年は、大分県内において、刑法犯の認知件数が約1万7,000件となり、空き巣や車上ねらい等県民が身近に不安を感じる街頭犯罪が多発するなど、極めて厳しい状況があったことにあります。

そこで、安全産業に携わる私たちが緊密に連携して積極的に警察に協力し、安全で信頼出来る防犯機器や設備の普及に努めるとともに各種地域安全運動を通じて県民の防犯意識の高揚を図るなど安全で安心な地域社会の実現に貢献しようという趣旨で設立されたわけです。

2.大分県における「安全・安心まちづくり」の状況

大分県では、平成16年8月に防犯条例である「大分県安全・安心まちづくり条例」が施行されました。条例には、県民による自主防犯活動と防犯環境の整備等が規定されており、条例を根拠に大分県の安全・安心まちづくりが進められております。条例は、大分県生活環境部と警察、教育庁が所管しており、県には横断的組織である大分県安全・安心まちづくり推進本部が設置され、さらに一般の方が委員となっている大分県安全・安心まちづくり協議会が設置されております。協議会には、大分県防犯設備士協会からも私が、委員として参加しております。6月4日（金）に開催された協議会の総会は、防犯意識の向上等の活動方針が決定されております。大分県は、全国平均に比べて、住宅侵入窃盗や乗り物盗の未施錠率が高いということで、防犯意識がまだまだ低いようです。協議会の活動を通じて、防犯意識の高揚に取り組みたいと思います。なお、協議会では、この他、10月に総合文化センターで安全・安心まちづくり県民大会を開催すること等が決まりました。県民大会には、毎年参加させていただいております。

3.活動の内容

当協会では、大分県警察と緊密な連携の下、防犯機器の普及に関する広報啓発に努めるとともに、警察が推進する地域安全活動に対して、積極的に参加し、安全で安心なまちづくりに貢献することとしています。

(1) 防犯展示

昨年10月に開催された大分県安全・安心まちづくり県民大会において、会場となった総合文化センターの1階アトリウムプラザで防犯カメラや、破壊等に強い錠等防犯機器の展示を行って、大会参加者等へこれらの機器を紹介しております。



防犯展示会の様子

(2) 警察の専科教養への協力

大分県警察本部が一線署の防犯対策に従事する警察官に対して、警察学校において専科教養を行っています。専科教養では、犯罪の分析、手口及び個別防犯対策等の専門的技術についての授業がありますが、この授業については、当協会の会員が、講師として出向き、講義をしております。

(3) 総会の開催

活動方針や組織の充実強化に向けた取組みを協議するために毎年1回、総会を開催しており、本年は、2月26日に大分県庁で総会を開催しました。

総会では、日本防犯設備協会との相互会員の締結の他、県防犯設備士協会加盟店であることを示すプレート作成について、議決されました。なお、今後は、大分県防犯設備士協会のロゴマークも作成したいと考えております。また、総会の場では、大分県内の犯罪情勢について、大分県警察本部生活安全部生活安全企画課安全・安心まちづくり推進室長から講話をいただいております。



総会の様子

4. 会員の拡充について

当協会の会員は、平成22年6月現在法人会員6、個人会員5名です。県内事業所数に対して登録会員数が少ない状況であり、会員の拡充が必要な状況です。当県における入会の手続きは、入会申込書を提出していただき、理事会の承認の後、会員となるということになっておりますので、当協会の活動に興味をもっていただいた方は、どうぞ気軽に申込みください。本誌への寄稿がきっかけとなり、新たな会員が加入していただければと思います。

今後とも県や警察、市町村等の連携の下、安全で安心なまちづくりを推進してまいります。



カギかけキャンペーンの様子